

(様式 3)

【九度山町】

校務DX計画

校務のDX化においては、ICTを活用することにより校務の効率化を図ることで、教職員の余剰時間を創出し、児童生徒に向き合う時間の拡充に努めるため、ソフト面とハード面の両方からその促進を図る必要がある。

全般的な課題として、クラウド環境の整備が必要であり、これには情報のセキュリティ管理や校務用ネットワーク及び学習用ネットワーク環境の關係に留意しながらその改善に努める。

また、特にFAXでのやり取り、押印の見直し、校務システムへの不必要な手入力作業の一扫は、校務の効率化・ペーパーレス化の大きな阻害要因になっていると考えられるため、早期の解決に努めたい。

以上に加え、校務システムの更改のタイミング（令和9年度）においてスムーズに次世代の校務システムへと移行できるよう、校務系ネットワーク・システム等の現状分析や、望ましい校務の在り方に関する検討をあわせて実施する。また、本計画の目標を下記のとおりに設定する。

項 目	K P I	目標値（目標年度）
校務のデジタル化	FAXでのやり取り・押印を原則廃止した学校の率	100%（R7）
	校務支援システムへの名簿情報の不必要な手入力作業を一扫した学校の率	100%（R9）
	クラウド環境を活用した校務DXを積極的に推進している学校の率（児童生徒・保護者との欠席・遅刻・早退連絡や各種連絡・調査・アンケート、校内での情報共有や資料共有・調査・アンケートについてクラウドサービスを積極的に取り入れている学校の率）	100%（R9）